

## 「障害者スポーツ振興アクションプラン」（中間案）に対する府民の皆さまからの御意見募集結果

平成27年12月21日  
京都府文化スポーツ部  
スポーツ振興課  
(電話 075-414-4252)

「障害者スポーツ振興アクションプラン」（中間案）について、府民の皆さまから御意見を募集いたしましたところ、貴重な御意見をいただきありがとうございました。

お寄せいただいた御意見及びこれに対する府の考え方を下記のとおり公表します。

また、御提出いただいた府民の皆さまの御意見を十分に考慮し、「障害者スポーツ振興アクションプラン」をとりまとめましたので、あわせて公表します。

### 記

- 1 意見募集期間  
平成27年10月9日（金）から平成27年11月5日（木）まで
- 2 意見提出者数（提出意見数）  
5名（9件）
- 3 意見の要旨とこれに対する府の考え方  
別紙のとおり
- 4 障害者スポーツ振興アクションプラン  
別添のとおり

(別紙)

「障害者スポーツ振興アクションプラン」に係るパブリックコメントの要旨及びこれに対する府の考え方

| 項目  | 意見の要旨  | 府の考え方  |
|---|--|--|
| 目標達成への課題と対策<br>＜障害者スポーツの場の確保＞<br>＜障害のある人もない人も指導できる指導者の育成＞ | ○障害者スポーツ（テニス、バスケットボールなど）を具体的にイメージしてプランを策定してほしい。  | □御意見をふまえて、様々なスポーツの現況を伺い、施策の実行段階でより具体的に取り組みます。                      |
|   | ○日常的に指導できる先生の育成や、駅から近く車イスでも楽に行ける施設整備が大切ではないか。  | □指導者の育成を進めるとともに、既存施設改修にあたってのバリアフリー化の促進等スポーツ施設の整備に取り組みます。           |
| ＜障害のある人もない人も共に楽しめるスポーツの普及と交流の拡大＞                          | ○身体・知的・精神で必要な支援は異なり、重度も人によって様々であるので、詳しいイベント情報が欲しい。   | □障害によって異なる様々な情報を広く広報することは重要であり、御意見をふまえて、体系的に提供するシステムを構築します。        |
|   | ○府民への情報提供をどのように行うのかという点も重要である。   | □府民の皆さんへの情報提供は重要と考えており、積極的に取り組みます。                                 |
| ＜学校教育における障害者スポーツの理解や障害者との交流の拡大＞                           | ○「指導者や介助者の育成」とあるが、ボランティアよりも、資格制度のようなソフト整備があったほうがよいのではないか。  | □障がい者スポーツ指導員資格取得のための情報提供や支援を促進するとともに、御意見をふまえて、新たな資格制度等について今後検討します。 |
| ＜学校やスポーツ団体等との連携による選手の発掘と育成＞                               | ○「障害のある選手とない選手の合同練習会や合同合宿等」とあるが、それぞれの競技はルールもスピードも違うのに、どのように実施するのか。無理に実施すれば、接触事故等で互いが怪我をするのではないか。 | □安心や安全は重要な課題と考えており、十分に配慮して行います。                                    |

|                                |  |  |
|--------------------------------|--|--|
| <p>&lt;障害者スポーツの支援体制の強化&gt;</p> | <p>○今まで障害者のホームづくりに力を入れてきた実績を活かしてほしい。例えば作業所チームを作れば、企業からの支援や雇用の伸びや可能性にもつながるのではないか。何をやるにしても障害者に対して差別的な態度があればうまくいかない。理解を育てることが基本となる。</p> <p>○大学には大きな体育館もあり、学内は車イス対応している大学も多いので、大学とコラボしてイベントをしてはどうか。</p> <p>○支援に向けた行政、学校、競技団体、大学、医療、企業等に係るネットワークづくりは良い方法である。お互いに助けあうことで、障害者スポーツの理解が深まるのではないか。</p> | <p>□理解を深めることなどいただいた御意見は重要な点であると考えており、スポーツを通じて障害のある人への理解や障害のある人とならない人との交流を広めるとともに、行政、学校、競技団体、大学、医療、企業等による連携、ネットワークづくりを進めます。</p> |
|--------------------------------|--|--|